

第10章 子どもの貧困対策【問31～問33】

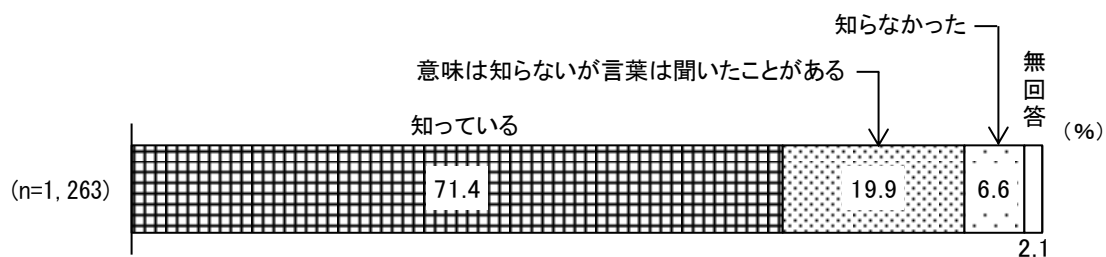
1 「子どもの貧困」の認知度【問31】

【全体の状況】

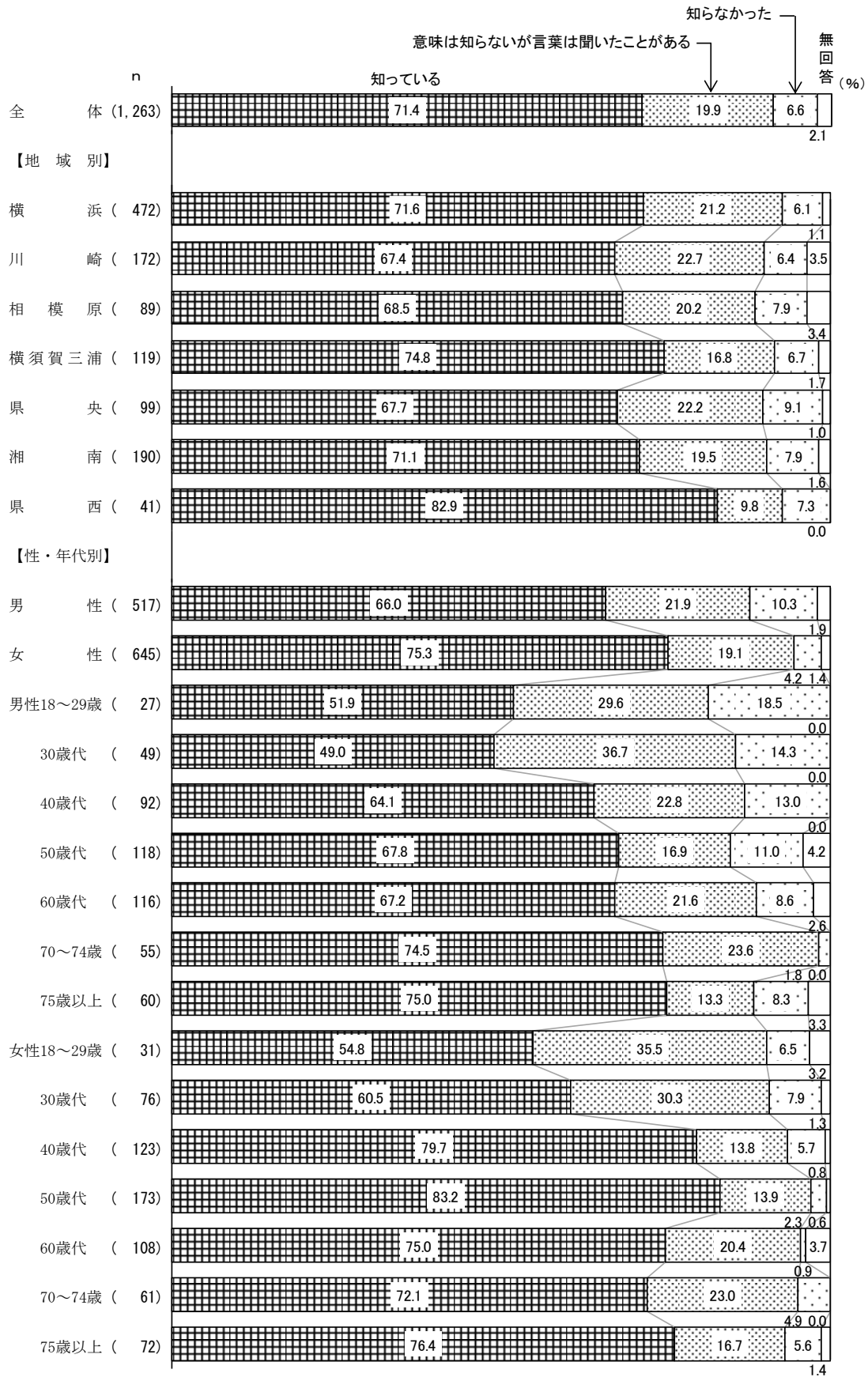
「子どもの貧困」という言葉の意味を知っているか尋ねたところ、「知っている」が71.4%であった。また、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」が19.9%であった。

一方、「知らなかった」が6.6%であった。(図表10-1-1)

図表10-1-1 「子どもの貧困」の認知度



図表10-1-2 「子どもの貧困」の認知度—地域別、性・年代別



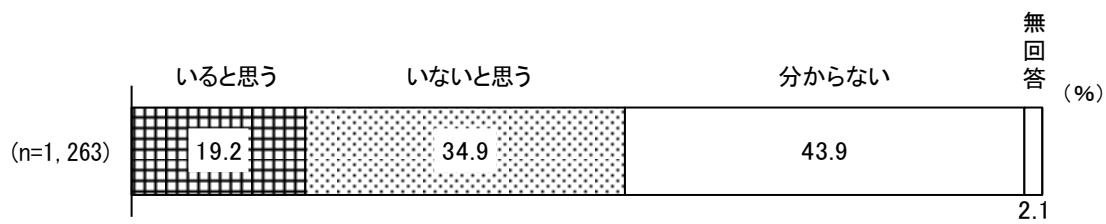
2 身近に支援が必要な子どもはいると思うか【問32】

【全体の状況】

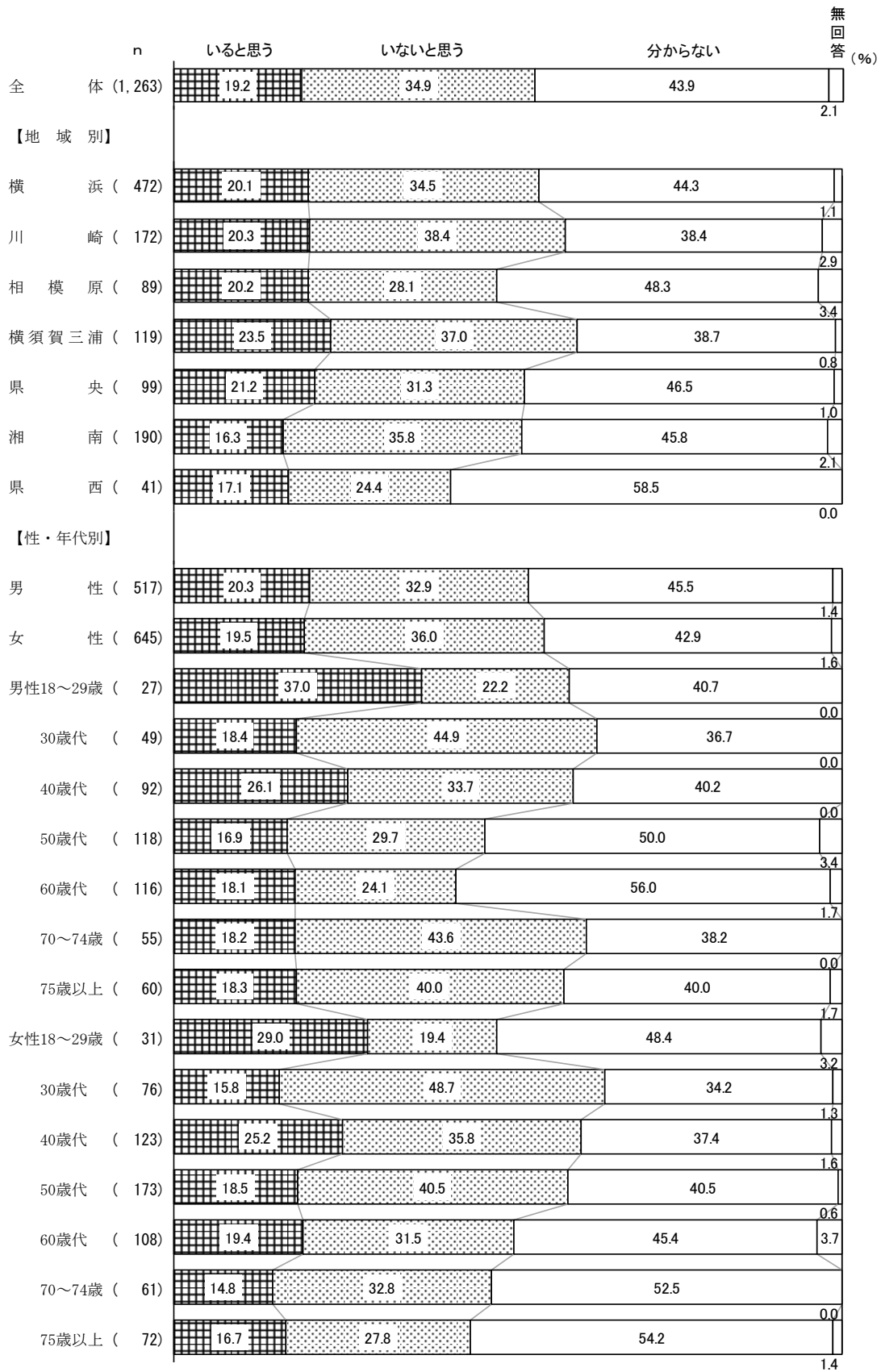
近所や職場、親戚などの身近に、経済的に苦しく行政などによる支援が必要な17歳以下の子どもはいると思うか尋ねたところ、「いると思う」が19.2%であった。

一方、「いないと思う」が34.9%であった。(図表10-2-1)

図表10-2-1 身近に支援が必要な子どもはいると思うか



図表10-2-2 身近に支援が必要な子どもはいると思うかー地域別、性・年代別

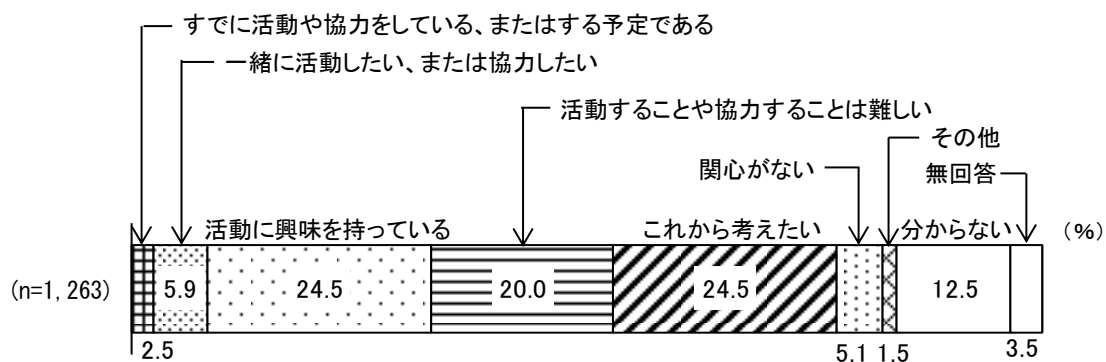


3 困難な環境にある子どもへの地域の支援活動に対する考え方【問33】

【全体の状況】

貧困などの困難な環境にある子どもを地域で支援する活動について、どのように考えているか尋ねたところ、「活動に興味を持っている」と「これから考えたい」がそれぞれ24.5%で最も多く、次いで「活動することや協力することは難しい」が20.0%であった。(図表10-3-1)

図表10-3-1 困難な環境にある子どもへの地域の支援活動に対する考え方



図表10-3-2 困難な環境にある子どもへの地域の支援活動に対する考え方—地域別、性・年代別

